

# 「カメラ(銀塩フィルム用)」製品分類別基準 (PCR 番号:AE-03)

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
1	PCR 設定の前提	製品	定義	銀塩フィルムを用いるカメラ (但し、レンズ付フィルムを除く。)
2			範囲	最小販売単位に含まれる本体と、機能を果たすための付属品・包装・マニュアル類。但し、レンズ交換式カメラにおいては、本体単体または本体+交換レンズの何れも可とするが、交換レンズ単体は適用外とする。
3			ステージ	範囲
4	製品データシート (LCI 入力データ)	製品ステージ 情報 (製品情報)	製品材料または 原料構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>光学系(撮影レンズ、ファインダーレンズ、プリズムミラー等)を部品等 A とする。</li> <li>材料は以下の分類とし、それ以外は原単位名を記載する: 普通鋼, ステンレス鋼, アルミニウム, その他金属, 熱可塑性樹脂, 熱硬化性樹脂, ゴム, ガラス, 紙, 木材, 実装回路基板, 電池</li> <li>資源投入量は製品となった段階の材料質量とする。</li> <li>リチウム電池の原単位はアルカリマンガン乾電池の原単位を使用する。但し、単3アルカリマンガン乾電池の容量を、計算上 650mAh と見なし、使用したリチウム電池の総容量に相当する単3アルカリマンガン乾電池の本数を求める (注参照)。</li> <li>フレキシ基板の原単位は実装回路基板の原単位を使用する。</li> </ul>
5		製造ステージ 情報 (製造サイト 情報)	投入, 消費, 排 出される物質とエ ネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>投入, 消費項目: 電力, A 重油, 軽油, 灯油, ガソリン, LNG(都市ガス), LPG, 都市用水, 工業用水, 地下水</li> <li>排出項目は特定しない。但し、各社で重要と判断したものを記載する。</li> <li>投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。</li> <li>副産物, 副資材<sup>*</sup>は計上しない。 (<sup>*</sup>副資材: 製造サイトで投入廃棄され、製品とともに出荷されない資材)</li> </ul>
6		物流ステージ 情報	製品の輸送条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザまでの輸送手段, 積載率は、各社が設定するモデルに基づくこととする。</li> <li>総輸送距離は、100km として算定することとする。</li> <li>海外生産を含む場合は海外輸送負荷を国内輸送負荷に加算して計上する。海外輸送条件は各社の実態で設定できるが、設定根拠の妥当性は検証の対象となる。</li> </ul>
7		使用ステージ 情報	製品の使用条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>使用条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用期間および撮影数 インスタントカメラ : 3 年, 撮影数: 100 枚/年 その他カメラ : 5 年, 撮影数: 150 枚/年 とする。</li> <li>フラッシュ使用率は 50% (フラッシュなしの場合は 0% のままで可) とし、消費電力は各社で算出する。</li> <li>レンズ交換式のカメラにおける電池の使用量は、標準レンズ使用時とする。</li> </ul> </li> <li>電池 <ul style="list-style-type: none"> <li>上記条件に基づいて消費される電池の個数として、端数切り上げの整数とする。</li> <li>電池そのものを対象とし、包装材料等は除く。</li> </ul> </li> <li>故障修理に起因する材料, エネルギー等の消費は対象としない。</li> <li>容器包装リサイクル法で定められた最新のリサイクル条件を採用する。 容リ法リサイクル量 = 容器包装排出見込み量 × 算定係数</li> </ol>
8	廃棄・リサイクル ステージ情報	製品の廃棄・リサ イクル条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>実状から、包装材料以外のリユース, リサイクルは考慮しない。</li> <li>本体, および、レンズは、不燃物として一般廃棄物処理シナリオに従う。</li> </ul>	
9	製品環境情報開示 シート(PEIDS)	インベントリ分析	LCI 計算式	<ol style="list-style-type: none"> <li>生産サイトの実測データがない場合の組立負荷は製品質量 × 2 × 組立原単位とする。</li> <li>オープンリサイクル/リユースを含む場合は、間接影響分と直接影響分に分けて計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。「PEIDS」では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳を「解説」欄等に記載する。</li> </ol>
10		インパクト評価	カテゴリ追加	PEIDS には「オゾン層破壊」と「富栄養化」の項目を含めない。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
11	内訳データシート (製品データシート 関連)	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12		データ収集	収集範囲	データを把握出来ない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良い。
13			カットオフルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。</li> <li>資源投入量は製品となった段階の材料質量とし、製品質量の90%以上の材料を種類別に分類、残りは比例配分して100%換算する。</li> </ul>
14	内訳データシート (PEIDS 関連)	データベース	共通原単位の選定	フラッシュは実装回路基板;光学ガラスはガラスの共通原単位を用いる。
15			原単位の追加	なし。
16			特性化係数の追加	なし。
17	製品環境情報	製品仕様		<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルム種別 (インスタント, 35mm, APS, 6×7 等)</li> <li>標準付属レンズの焦点距離 (APS の場合, 135 換算値も記載する), 明るさ(F 値)</li> <li>フラッシュの有無 ・質量(電池なし), サイズ</li> <li>AF 機能, 防水機能およびレンズ交換機能の有無:任意表記</li> </ul>
18		データ公開内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖化負荷, 酸性化負荷, エネルギー消費量を必須記載とし, 選択項目の鉱物資源については任意記載とする。</li> <li>E セクション下に, 次の文言を記入する:上記数値は, 電池の負荷は含みませんが, フィルムの負荷は含みません。</li> <li>オープンリサイクル/リユースを含む場合は, 「ステージ毎のリサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せず独立して表示し, リサイクル効果の内訳を欄外等に記載する。</li> </ul>
19	その他環境関連情報	選択記載事項		ガイドラインに従う。

(注) ①現在のカメラの主流である円筒型リチウム一次電池 (CR 系) の原単位が不明なため、アルカリマンガン乾電池の原単位で代用する。  
②両電池兼用可能な各社機種種の公開データの平均値は、CR123A (公称放電容量:1300mAh) 1 本は単三アルカリマンガン乾電池 (LR6) 2 本に相当する能力 (撮影枚数) を有すると評価される。このことから、LR6 の放電容量を 650mAh と見なし、異なる CR 系電池については、その公称放電容量から、相当する LR6 の本数を求める。  
③放電容量等は、電池メーカー技術資料に基づき次のデータを採用する。  
(放電容量) CR2 : 750mAh, CR123A : 1300mAh, 2CR5 : 2600mAh\*, CR-V3p : 3000mAh \*定格値は、公称電圧 6V×公称放電容量 1300mAh であるが、他品番の 2 倍の公称電圧であるため、計算上は (3V×) 2600mAh と見なす。  
(LR6 質量) 23.5g (備考:アルカリマンガン乾電池の共通原単位は、LR6 に関するデータを元に、単位質量当たりの原単位として表示されている。)  
なお、製品に添付される電池の負荷は製造ステージ、取り替え分は使用ステージに、それぞれ計上する。使用期間中に廃棄される電池は使用ステージに、最終的に本体とともに廃棄される電池は廃棄・リサイクルステージに含める。

### PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2002/8/29
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

### 本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2002/8/29	01	制定
2004/3/1	02	改訂
2004/9/29	03	改訂
2008/1/1		更新
2011/2/1		更新

## 製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

### <規定改定前のPCR項目>

### <規定改定後のPCR項目>

No.	規定改定前のPCR項目		No.	規定改定後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				